

【出展作家資料】



〈MaskingPlant〉
2008年/大阪

浅井裕介 (Yusuke Asai)

1981年東京都生まれ。テープ、土、埃など、身近な素材を用いて様々な場所で絵を描く作家。建築家、ミュージシャン、ダンサーとのコラボレーションプロジェクトやワークショップなども多数行っている。VOCA2009 展大原美術館賞受賞。今回は、長者町の壁面、室内、喫茶店などの空間や都市の隙間に成長、増殖していく終わりの無い植物画を出現させる。



《長者町プロジェクトのためのドローイング》
2009年

KOSUGE1-16 (コスゲイチノジュウロク)

車田智志乃と土谷享のアーティストユニット。2001年より活動開始。日常のありふれた環境や、現象、人のつながりを作品制作のきっかけに、作品を介在させることで鑑賞者を参加者として変質させ、参加者同士、あるいは作品と参加者の間に「もちつもたれつ」という関係性を構築している。来年の本展に向け、まちと協働して長者町オリジナルのからくり山車を作るプロジェクトをスタート。今回は、旧繊維卸問屋の空間に、まちから集めた素材を取り入れた巨大なぬいぐるみ山車が出現する。



〈ゲルニカ〉
2009年/長者町

トーチカ (TOCHKA)

ナガタタケシとモンノカヅエによるクリエイティブユニット。マルチメディアグランプリCG部門ベストジングル賞受賞、仏アヌシー国際アニメーション映画祭ノミネート他の賞歴をもち、実験的手法を用いた作風のアニメーション/グラフィック/イラストなどで幅広く活躍している。今回は光で描くアニメーション《PiKaPiKa》の技法を使ってまちの人々が制作したピカソの絵画を展示する「ピカピカピカソ美術館」をつくるプロジェクト。ゑびす祭りでは、「ピカピカアート屋台」を出店する。



〈shiny & daisy〉 2007
 Lambda print
 Migakikko-Naohiro Deguchi/Takayuki
 Yamamoto

山本高之 (Takayuki Yamamoto)

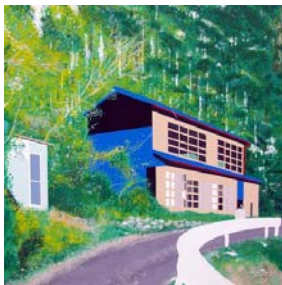
1974 年愛知県生まれ。愛知教育大学大学院を修了後にロンドンに渡り、チェルシー・カレッジ・オブ・アート・アンド・デザインで学ぶ。シャージャ・インターナショナル・ビエンナーレ（アラブ首長国連邦）選出など国際的な活動を行う。近年は自身の制作と並行してアーティスト・ユニット「みがきッコ」を出口尚弘と共に結成し、洗車にまつわるプロジェクトを行っている。2007 年にはドイツで開催されたドクメンタ 12 のマガジン・プログラムに参加。現在はトーキョーワンダーサイト（東京都）の国内クリエイター制作交流プログラムに参加中。



〈全天候型絵画(嫁)〉 1998 の前でおどけるジェット達 2009
 電気文化会館 名古屋

石田達郎 (Tatsuo Ishida)

1974 年愛知県生まれ。愛知県立芸術大学大学院油画専攻修了。1998 年に今池の空きビルを使ったプロジェクト「ナイスアート」に参加し、翌年には数名のアーティスト達と上小田井(西春日井郡/愛知)にオルタナティブスペース「Art space dot」をオープン。また絵画や造形による表現に加えて、2005 年頃から(2007 年からは「aka ジェット達」として)パフォーマンスによる表現を開始。2004 年には「AKIMAHEN!」展(フランス)、「NIPPON TIME RECYCLED」(ニューヨーク)など、国際的な発表活動も行っている。



〈地方の家 2 5〉 2007 年
 パネルにペンキ、90×90 センチ、個人蔵

川見 俊 (Shun Kawami)


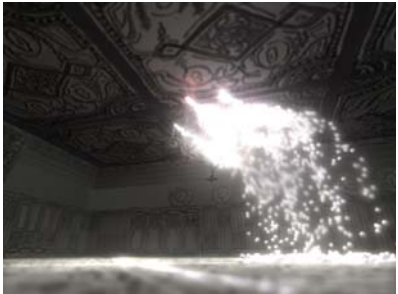
1981 年静岡県生まれ。2002 年のカーネギーメロン大学(アメリカ)短期留学を経て、2004 年に名古屋造形芸術大学彫刻コース研究生(前期)を修了。以降、名古屋や韓国などで多くの展覧会に参加。絵画やインスタレーションなどの様々な表現手法を駆使し、見慣れた日常風景や記号といったパブリックイメージ、また美術の視覚的な制度など、視る者が受容するイメージの内部に巧みな造形表現を行う。2009 年は VOCA 展に選出。



〈Untitled〉 2006
 提供：神戸アートビレッジセンター
 撮影：草木貴照

青田真也 (Shinya Aota)

1982 年大阪府生まれ。ロードアイランドデザイン学校(アメリカ)、京都精華大学版画専攻を経て、2008 年に愛知県立芸術大学大学院油画専攻を修了。身近な大量生産品の表面を紙やすりで擦り落とし、視る者の先験的な視覚情報からその「表層」を奪い去ることで逆説的にその実質を顕在化する作品を制作している。主に関西や中部地方で発表活動を行い、2008 年には神戸アートビレッジセンターの若手支援プログラム「1 floor」に選出、また群馬青年ビエンナーレ 2008 では奨励賞を受賞している。

	<p>齋と公平太 (Kouheita Saito)</p> <p>1972年 愛知県生まれ。1995年に名古屋造形芸術大学を卒業し、名古屋を中心に発表活動を行う。1997年に水戸芸術館(クリテリオム26)にて個展開催。また、1998年にVOCA展、2000年には「空き地」(豊田市美術館)に選出。2005年には第8回岡本太郎記念現代芸術大賞展にて特別賞を受賞。キッチュな素材を用いて「非美術」の領域を美術内部へと反転する取り組みを続ける。2009年、斎藤公平より改名。トリエンナーレ非公式キャラクター、LOVEちくんとARTくんのオリジナルグッズショップを開店。長者町の商店の協力で制作したLOVEちTシャツ、LOVEちくんの着ぐるみなども登場!</p>
 <p>〈Queens of Sorrow〉2008 Kristi Engle Gallery, Los Angeles</p>	<p>Jim Ovelmen (ジム・オヴェルメン)</p> <p>1970年、アメリカ イリノイ州生まれ。カリフォルニア・インスティテュート・オブ・アーツで美術を学び、そこでの絵画やドローイングの経験をもとに、アニメーション表現に移行。ハリウッドに代表されるような巨大資本による商業映画とは対照的な映像表現として、パーソナルコンピューターによるCGアニメーション制作の可能性を探求している。現在はカリフォルニア州立大学ロサンゼルス校准教授として、アニメーション表現の研究活動と教育普及にも力を注いでいる。</p>

【パフォーマンス&ワークショップ参加アーティスト】

	<p>出口尚宏 (Naohiro Deguchi)</p> <p>1978年生まれ。2000年に京都精華大学美術学部を卒業した後、2002年よりオルタナティブスペース「muzz program space」(京都)の運営に携わる。2007年に山本高之とのユニット「みがきッコ」を結成、カッセルのドクメンタ12(メトロノーム企画に招聘)やトヨタアートコレクション2008、AIT(Art Initiative Tokyo)主催の「環境・術」などに参加。みがきッコでは山本と共にコンセプトメイキングに携わるほか、グラフィック面を担当している。</p>
	<p>TAN RuYi (タン・ルイ)</p> <p>1973年マレーシア生まれ。2007年に名古屋造形芸術大学大学院の実験型美術研究を修了した後、中部地方を中心に活動。2008年に川見俊、青田真也、小杉滋樹らと愛知県美術館にて「何かしらつくってみよう」ワークショップを実施。</p>
	<p>小杉滋樹 (Shigeki Kosugi)</p> <p>1979年静岡県生まれ。2004年に名古屋造形芸術大学の洋画コースを卒業した後、彫刻科の研究生として2年間同学で学ぶ。修了後は中部地方を中心に活動。2008年に川見俊、青田真也、タン・ルイらと愛知県美術館にて「何かしらつくってみよう」ワークショップを実施。</p>

【長者町パフォーミング^{どおり}街 参加アーティスト】



(撮影：井上嘉和)

東野祥子 (Shoko Higashino、ダンス)

2004年に「トヨタコレオグラフィアワード 2004」で次代を担う振付家賞を受賞するなど、世界的にもその即興センスのあるダンスパフォーマンスに注目があつまるコンテンポラリーダンスの振付家/ダンサー。「BABY-Q」というダンス・カンパニーを立ち上げ活躍すると共に、ソロ活動として、数多くのミュージシャンとのセッションを行う。



カジワラトシオ (Toshio Kajiwara、サウンドパフォーマンス)

90年代初等にNYでレコード・プレーヤーやテープ・マシンを多用した独自のパフォーマンスを始める。後にクリスチャン・マークレー・トリオのメンバーとして世界各地をツアー。98年より5年間即興パフォーマンスイベント、「phenomena」をNYのTONICで企画運営。近年は東野祥子主宰のダンスカンパニー「BABY-Q」の音楽・演出も担当している。



めんどルズ (Mendors、ダンス) × THE PONDORS (ザ・ポンドルズ、音楽)

愛知芸術文化センター15周年記念イベント「愛知と青春の旅立ち」をきっかけに結成され、愛知芸術文化センターを拠点に活動するダンスグループ「めんどルズ」と音楽バンド「THE PONDORS」。ダンスは、ダンス・カンパニー「コンドルズ」の主宰・振付の近藤良平、コンドルズメンバーの山本光次郎、藤田善宏、音楽は同じくコンドルズ音楽監督・石淵聡に指導を受ける。メンバーは固定ではなく、イベントのたびに集まりなおして、ワークショップを重ね、新しい作品を創っている。



afterimage (アフターイマージュ、ダンス)

2003年、振付家・ダンサーの服部哲朗を中心に結成され、名古屋を拠点に活動する男性だけのダンス・カンパニー。男性ならではの力強いエネルギーに、コンタクトインプロビゼーションを取り込んだ「キモチイイダンス」を追求。服部は、フランス・カーン国立振付センターが企画する国際共同作品に参加するなど、近年活躍がめざましい。服部哲朗は、平成20年度アーツチャレンジ2009舞踊部門入選。



魂宮時 (Takuji、ダンス)

ヒップホップに出会い House, Reggae と黒人文化を学び P. Dunits のメンバーとして活躍。その後コンテンポラリーへ移行、リアリティーを求めて N.Y へ渡米。1998 年から、“明と暗” (バランス) をテーマにダンス、インスタレーション、詩、エンターテイメントなど色々な表現方法で創作を楽しんでいる。近年は『魂宮時』名義で音楽家や他のジャンルのアーティストとの共演を多く行っている。平成 18 年度アーツチャレンジ 2007 舞踊部門入選。



CAKRA DANCE COMPANY (チャクラ ダンス カンパニー、ダンス)

ストリートダンサーの最上級系として、street=混沌 を根本に、真偽一体を否定せず、リアルな人間像を舞台芸術に表した前衛舞踊団。現在日本から世界に活動範囲を広げる為、様々なフィールドに BATTLE 敢行中。